

- ☆第19回地方委員会
- ☆「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」全国リレー
- ☆第47回衆議院選挙候補者紹介
- ☆組合役員教育プログラム修了書授与式/地協ブロック連絡会、市長・町長政策懇談会
- ☆エコライフ21/もうすぐ選挙/12月の行動日程
- ☆あけぼのビル

第19回地方委員会開催

2015年度活動方針決定



連合埼玉は、第19回地方委員会を11月20日(木)、浦和ロイヤルパインズホテルにて、地方委員・傍聴・来賓等、約180名の参加のもと開催した。

連合埼玉小林直哉会長は主催者代表挨拶において、12月16日に迎える連合埼玉結成25周年が控えていることから、結成当時の状況について触れた。また、当面の重要課題として、「拡がる格差を是正するために現政権がおこなおうとしている労働者保護ルールの改悪阻止と、経済の好循環をめざすための2015春闘の重要性」、「20万連合埼玉をめざす組織拡大の取り組み」、「政策実現をめざすための衆議院議員選挙ならびに統一地方選挙勝利の必要性」について決意を述べた。

今地方委員会の議案である、2015年度の活動計画・予算、役員の一部交代など全議案を満場一致で確認した。

また、地方委員会内にて、第47回衆議院議員選挙ならびに第18回統一地方選挙必勝決議の採択をおこなうのと同時に、「STOP THE格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーン行動として、連合千葉よりタスキのリレーを受け、特別決議を採択した。

最後に「地方委員会アピール」を採択し、地方委員会を閉会した。

連合埼玉第19回地方委員会での報告事項及び議事内容

【各種報告】

- 1)2014年度 活動経過報告
- 2)2014年度 会計報告
- 3)2014年度 会計監査報告
- 4)特別報告
 - ①2014年度「埼玉県労働委員会」報告
 - ②2014年度「埼玉県最低賃金審議会」報告

【議事】

- 第1号議案 2015年度活動計画(案)について
- 第2号議案 2015年度 予算(案)について
- 第3号議案 役員の一部交代について

【特別決議およびアピール】

- ・第47回衆議院議員選挙ならびに第18回統一地方選挙必勝決議(案)の採択について
- ・「STOP THE格差社会!暮らしの底上げ実現」労働者保護ルール改悪阻止全国行動 全国横断アピールリレー・タスキ引継ぎ式ならびに特別決議(案)の採択
- ・第19回地方委員会アピール(案)の採択について

連合埼玉第19回地方委員会 挨拶要旨 会長 小林直哉

私たち連合埼玉は来たる12月16日で、結成25周年・四半世紀を迎える。結成大会では、「平和 幸せ 道ひらく」のスローガンのもと、新たな創造、大きな躍進、果敢な挑戦を誓い合い船出した。初代会長の服部光朗さんの就任のあいさつは、「今、心の高ぶりを抑えることができない。連合は限りない夢とロマンを秘めている。組織も個人もエゴを捨て、ヒューマニズムを基本に労働者福祉の実現に向け、連合運動を進めたい。」というものであった。結成に至るまでには、多くの先輩諸氏の高い志、情熱、そして弛まぬ努力によって、幾多の困難を乗り越えられてきた。改めて先人のご努力、ご尽力に心から敬意を表したい。

結成1ヵ月前の11月9日にベルリンの壁が崩壊し、東西冷戦の終結が宣言された。一方、国内では元号が昭和から平成に変わった年であり、年末大納会の株価は3万8915円であった。また、1990年代に入り一気に株価が下がるバブル崩壊の起点の年でもあった。それからの日本社会、経済は、失われた10年、20年と擲揄されたのは周知の通りである。そして、結成25年を迎える今日、世界も日本も大きく様変わりし、今私たちはさらなる歴史の転換点の真ただ中にいる。課題山積の中、連合埼玉の役割と責任、その真価が問われている。難しい時代だからこそ、連合埼玉を結成した原点を一人一人がもう一度自覚し、明るく元気に運動を進めていきたい。

結成から四半世紀の節目に立つ今地方委員会の冒頭にあたり、当面の重要課題3点について所見を述べる。

1点目は、ますます広がる格差をどう阻止するかである。相対的貧困率が、世界34の先進国で組織するOECD中ワースト4位の日本。国民の6人に1人が貧困に喘いでおり、働く人の実に5人に1人が年収200万円以下のワーキングプア状態から抜け出せない現実がある。その格差を是正するのが本来、政治の役割のはずだが、安倍政権は労働者保護ルールを破壊し、格差の固定・拡大に躍起になっている。連合ならびに連合埼玉は、安倍政権の暴走を阻止すべく現在、「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーン第3弾を展開している。北は北海道、南は沖縄からタスキをリレーし、全国を縦断して12月に東京に集結する。埼玉はこの地方委員会で連合千葉からタスキを受け、明日から4日間、県内で街宣活動をおこない連合山梨につないでいく。

格差を是正し暮らしを底上げするには、賃上げが必要である。連合は2015春闘方針として、2%以上のベースアップの方向性を議論しており、12月初旬に統一要求方針を決定する予定である。当然のことながら、デフレ脱却には個人消費の喚起が不可欠であり、そのカギは、雇用労働者の7割を占める中小企業で働く仲間、そして約2,000万人の非正規労働者の「底上げ」「格差是正」が進むかどうかにかかっている。

。加えて、物価が上昇する一方で国民所得が追いついていないという新たな課題が生まれている。連合埼玉は、2015春闘とそれに続く最低賃金の引き上げに全力で取り組んでいく。

2点目は、組織拡大である。連合は2020年までに1000万連合の達成をめざしており、連合埼玉でも2011年の第12回定期大会で、20万連合埼玉をめざすことを決定している。以降、各構成組織と意見交換を実施し、組織拡大の取り組み状況や現状の課題について認識の共有をはかった上で、具体的連携について話し合ってきた。

不当な労働環境で働く仲間からの労働相談から、組合づくりをサポートするために、連合本部と連合埼玉、構成組織の三位一体の取り組みを強化したい。また、埼玉県には約250万人の雇用労働者がいます。もちろん、東京をはじめ県外勤務者も少なくないが、埼玉県内で働く未組織の方も多くいる。連合埼玉は、情熱をもって仲間づくりに取り組むので、皆さんの支援と協力をお願いしたい。

3点目は、私たちが求める政策実現に向けた取り組みである。自公政権となって丸2年が経過しようとしているが、アベノミクスと称して推し進めている経済政策は、国民の生活を顧みず円安誘導と株価上昇に最大の関心を寄せているとしか思えない。安倍政権は「世界で一番企業が活動しやすい国」をめざすとして、解雇を容易にし、非正規労働者を増やし、残業代ゼロ、長時間労働と過労死を増大させる労働法制の大改悪を進めようとしている。まさに、ブラック企業を合法化するがごとくである。

そのような中、安倍首相は衆議院の解散を表明し、消費増税先送りと経済政策「アベノミクス」への中間評価を国民に問う戦いと位置付けて、総選挙に打って出てきた。8%に引き上げる際の約束でもあった社会保障の充実や、議員自身を切る改革としての定数削減も守ろうとはせず、身勝手な大義なき解散としか言えない。私たちは、この総選挙を「安倍政権の暴走をストップさせる選挙」と位置づけ、全力で取り組む。そして、来春予定の第18回統一地方選挙は、埼玉県の未来を決める重要な戦いである。すべての労働者が大切にされる「希望と安心の社会」を地域から実現していくためにも、第18回統一地方選挙において、連合埼玉推薦候補者全員の当選をめざし、全組織の総力を結集した戦いを進めていく。改めて各構成組織、全地域協議会の協力と連携をお願いする。



小林直哉会長

退任&新任役員を紹介

前副事務局長 **山本 洋志(やまもと ひろし)**

任期:2010年11月～ 4年間

構成組織:自動車総連

(本田技研労働組合)

この4年間、多くの方と心を合わせて全力で活動させていただきました。時には悔しいこともありましたが、皆さんと共に多くの喜びを分かち合うことができました。これも皆さんの支えがあったからこそだと思います。取り巻く環境は厳しいですが、理屈に流されることなく、強力な運動を展開することを構成組織の立場から応援していきます。



副事務局長 **芳賀 剛志(はが たかし)**

構成組織:自動車総連

(本田技研労働組合)

新興国の台頭やIT化の進展により、日本の産業はし烈な国際競争にさらされています。このことが、私たち働く者の生活や将来に大きな不安をもたらす要因となっています。このような厳しい環境の中、私は皆さんとともに、働く仲間の「底上げ」「底支え」のために精一杯力を尽くしていきます。どうぞよろしく願いいたします。



第19回 地方委員会

来賓挨拶



埼玉県
岩崎康夫副知事



さいたま市
清水勇人市長



埼玉労福協
宮本重雄副理事長



埼玉労働局
阿部充局長



(社)埼玉県経営者協会
藤池誠治副会長



民主党埼玉県連
大島敦代表



連合埼玉議員会
畠山稔議長



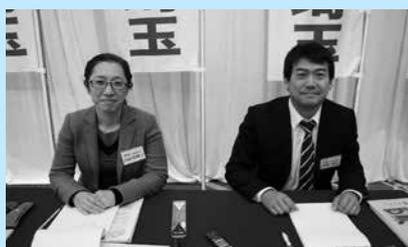
議長団 大畑幸子地方委員(自動車総連)
松村敏司地方委員(JAM埼玉)



全国縦断アピールリレー・タスキ引継ぎ式



ネット21運動NPO応援・物品助成贈呈式



書記 川島貴至さん(青年委員会)
内田真理子さん(女性委員会)



第47回衆議院議員選挙ならびに
第18回統一地方選挙必勝決議(案)
小室隆行副会長



団結ガンバロー

労働者保護ルール改悪阻止!

格差拡大、ワークライフ・バランスの破壊は許さない!

いま、政府は、成長戦略の名のもとに、「労働者派遣法」の改悪や「新たな労働時間制度」いわゆるホワイトカラー・エグゼンションの導入など、働く者の雇用や心身の健康をおびやかすさまざまな議論を進めている。

連合は、これらの労働者保護ルール改悪を阻止するため、「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーンの一環として「全国縦断アピールリレー」をおこなっている。このリレーは、9月25日に北は北海道・旭川、南は沖縄・石垣島をスタートし、全国の地方連合会をリレーしながら広く世論喚起をおこなうためのものである。

連合埼玉では、11月20日「第19回地方委員会」にてタスキ引継ぎ式、特別決議をおこない、連合千葉からリレーを受け、11月25日に連合山梨にリレーするまでの期間、県内全域632kmを走破しながら、48ヵ所(うち、21日の県内一斉行動23ヵ所)で精力的に街宣行動をおこなった。

アピールリレー:行動一覧

11月20日	タスキ引継ぎ式、特別決議	第19回地方委員会にて、連合千葉よりリレーを受ける。
11月21日	南部ブロック街宣行動	川口、浦和、さいたま新都心などの各駅で街宣行動をおこなう。
	県内一斉街宣行動	執行部、地域協議会の連携により、18:00より県内23ヶ所の駅頭で一斉に街宣行動をおこなう。
11月22日	北部ブロック街宣行動	東松山、熊谷、本庄、高坂などの各駅で街宣行動をおこなう。
11月23日	東部ブロック街宣行動	久喜、春日部、越谷、草加などの各駅で街宣行動をおこなう。
11月24日	西部ブロック街宣行動	川越、志木、和光、所沢などの各駅で街宣行動をおこなう。
11月25日	タスキ引継ぎ式	連合山梨へリレーをおこなう。



11月20日
地方委員会にて連合千葉よりリレーを受ける



11月21日
県内一斉街宣行動で挨拶する小林会長



11月22日
北部ブロック街宣行動で挨拶する小林会長



11月23日
東部ブロック街宣行動でアピールする佐藤事務局長



11月24日
西部ブロック街宣行動でアピールする佐藤事務局長



11月25日
甲府駅前にて連合山梨へリレーする

自公政権が続く限り、働く者の雇用や心身の健康をおびやかす悪法の成立を狙ってくるが見込まれるため、今後も法案成立を阻止すべく活動を強化していく。

第47回衆議院選挙連合埼玉推薦候補者

第1区

民主党

たけまさ公二



(現5) (53才) さいたま市見沼区・浦和区・緑区・岩槻区

第3区

民主党

細川律夫



(前) (71才) 草加市・越谷市

第4区

民主党

神風ひでお



(前) (53才) 朝霞市・志木市・和光市・新座市

第5区

民主党

えだの幸男



(現7) (50才) さいたま市西区・北区・大宮区・中央区

第6区

民主党

大島あつし



(現5) (57才) 鴻巣市(旧川里町域除く) 上尾市・桶川市・北本市・伊奈町

第8区

民主党

おのづか勝俊



(前) (42才) 所沢市・ふじみ野市(旧大井町域) 三芳町

第12区

民主党

本多平直



(前) (50才) 熊谷市(旧江南町域除く) 行田市・加須市・羽生市 鴻巣市(旧川里町域)

第15区

民主党

高山さとし



(前) (44才) さいたま市桜区・南区 蕨市・戸田市

比例区
は
民主党

投票日

12月14日(日)

次世代につながる組合役員の育成を行う!

～連合埼玉「組合役員教育プログラム(基礎講座)(実務講座)」修了証書授与式～

10月29日(水)あけぼのビルにおいて、組合役員教育プログラム(基礎講座)(実務講座)修了者に対する「修了証書授与式」を開催した。当日は2013年及び2014年基礎講座修了者24名、2014年実務講座修了者3名のうち、のべ16名が出席した。

冒頭、小林会長より「連合埼玉としても労働組合としても人材育成は大切である。その中で連合埼玉は、学習と人材交流による2つの人材育成をおこなっている。なかなか教育に手が回らない組合に対し、連合埼玉としてフォローし、労働運動を前進させるために教育プログラムがある。ぜひとも組合で活かして頂きたい」と主催者代表の挨拶があった。

次に、出席者一人ずつ修了証書を小林会長より受け取り、挨拶をおこなった。修了者の挨拶では、「非常に役に立ったので組合に戻って役立てていきたい」、「まだ受けてない講座があるので積極的に受講したい」、「参加型の教育なので仲間の大切さについても学んだ」など、多くの声を頂いた。

その後、服部光朗顧問(連合埼玉初代会長)は、「労働運動50年を通じ、今語り継ぎたいこと」と題した特別講演にて、「労働組合は思いやりの組織であり、相手の立場にたって考えられる人間になってほしい」と期待を込められた。



小林会長



特別講演 連合埼玉顧問 服部光朗氏



出席者のみなさん

全市町村で政策制度の実現を!

～地協ブロック連絡会、市長・町長政策懇談会を開催～

10月15日(北部ブロック)、16日(東部ブロック)、21日(西部ブロック)、22日(南部ブロック)に「地協ブロック連絡会」と「市長・町長政策懇談会」を開催した。各ブロック連絡会では、連合埼玉小林会長をはじめ、各ブロック担当副会長・執行委員、各地域協議会四役が参加し、①2015年度活動計画(案)、②2014年度政策制度要求(地協統一)、③第18回統一地方選挙について説明した後、各地域協議会での政策要請の取り組みや活動報告をおこなった。連合埼玉からは政策制度要求が未提出の市町村が無くなるよう全ての市町村に対し要請するようお願いした。その後の政策懇談会では、2014年度政策制度要求(地協統一)説明をし、その後各市町での行政にかかわる問題について、多くの市長・町長、推薦議員に出席し活発な意見交換がおこなわれた。また北部・東部ブロックでは終了後に参加者全員で、貧困解決のための世界的キャンペーンであり、189カ国のリーダーが合意したミレニアム開発目標を後押しするための「STAND UP ACTION」を実施した。



挨拶をする小林会長



スタンダアップ



北部ブロック(キングアンバサダーホテル)



東部ブロック(三高サロン)



西部ブロック(川越東武ホテル)



南部ブロック(さいたま共済会館)

ピークカット アクション 21

省エネにつながる 21 のワザ

冬も連合が提案する 21 個の節電アイデア「ピークカットアクション 21」に取り組み、電気を使う時間をみんなで分け合うとともに、生活習慣の見直しにつなげていきましょう！

エアコン

- 1 温度設定を控えめにする(20℃が目安)。
- 2 使用時に扉やカーテン・ブラインドを閉める。
- 3 フィルターをこまめに掃除する。
- 4 こたつなど効率よい部分暖房や、石油／ガスストーブ、湯たんぽなど電力をつかわない器具の活用を心がける。
- 5 重ね着や膝掛けなど、衣類の工夫を心がける。

照明

- 6 電球の間引き、照度の調整をする。
- 7 器具のこまめな掃除で明るさをアップする。

冷蔵庫

- 8 温度設定を控えめにする(弱に設定する)。
- 9 開いている時間を短くし、余分な開閉はしない。
- 10 物を詰め込みすぎないようにする。

テレビ

- 11 画面のこまめな掃除で明るさをアップする。
- 12 ビデオ・DVD やゲーム機器のつけっぱなしに注意する。

その他

- 13 温水洗浄便座の温水・便座の温度設定を控えめにし、使わないときは保温便座のふたを閉める。
- 14 炊飯は早朝にまとめて炊きをし、保温機能は使用しない。
- 15 電気式衣類乾燥機は極力使用しない。

電化製品共通

- 16 スイッチをこまめに切る。
- 17 省エネ効果の高い製品への買い換えや、省エネモードやタイマー機能の活用をする。
- 18 季節によって必要ない機器や、使用頻度の低い機器はコンセントを抜くまたは主電源を切る。
- 19 スイッチ付きテーブルタップの活用で、待機電力の削減を心がける。

生活行動の工夫

- 20 家庭において、特にピークカットが求められる時間帯(18時以降)の電力使用を極力抑える。
※地域の電力事情をご確認ください。
- 21 家族が同じ部屋で過ごし、消費電力を抑える。

みんなでアクション!
冬のピークカット!!

冬は、夕方以降の
エアコンと照明に
注意じゃー!



冬
期
版



URL <http://www.rengo.org/>

エコライフ21

検索

2014

連合エコライフ21

= もうすぐ選挙 =

第47回衆議院議員選挙

告示日:2014年12月2日(火) 投票日:2014年12月14日(日)

三芳町長選挙

◆林 伊佐雄(はやし いさお) 57才(無所属・現1・連合埼玉推薦初)

告示日:2014年12月9日(火) 投票日:2014年12月14日(日)

現在予定される12月の日程表です

12月	連合埼玉・事務局	行事等	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 月			
2日 火	①埼玉シニア連合第7回幹事会(12:00~・連合埼玉会議室) ②埼玉シニア連合第18回定期総会(14:00~・あけぼのビル)		①第47回衆議院議員選挙公示日 ②連合第69回中央委員会(10:00~15:00・ラングウッド) ③第1回埼玉地方労働協議会(14:00~・ホテルプリランテ武蔵野)
3日 水			
4日 木	女性委員会「第26回定期総会」(10:00~・あけぼのビル)		
5日 金	「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現労働者保護ルール改悪阻止全国集会行動」 埼玉集会(17:00~・さいたまスーパーアリーナTOIRO)		茨城県議会議員選挙告示日
6日 土			
7日 日			
8日 月	埼玉シニア連合第1回幹事会(14:00~・連合埼玉会議室)		
9日 火	第1回四役・執行委員会(10:00~・13:00~・ときわ会館)		①三芳町長選挙告示日 ②平成26年度労働相談・個別労働紛争解決制度関係機関連絡協議会(14:00~・埼玉労働局)
10日 水	全国一斉労働相談ダイヤル(~12/11)		
11日 木			
12日 金			
13日 土			
14日 日			①第47回衆議院議員選挙投票日 ②三芳町長選挙投票日 ③茨城県議会議員選挙投票日
15日 月			
16日 火			本庄・児玉郡市地域協議会「第14回地協委員会」
17日 水			①北埼玉地域協議会幹事会(17:00~・羽生市民プラザ) ②秩父地域協議会「第13回年末チャリティーボウリング大会」(18:35~・児玉スカイボウル)
18日 木			
19日 金			比企地域協議会「第26回地協委員会」(18:00~・紫雲閣)
20日 土	①連合埼玉の森「育樹会」枝打ち(9:00~・秩父市) ②ネット21「インターンシップ体験報告会」(10:00~・あけぼのビル502)		
21日 日			
22日 月			熊谷・深谷・寄居地域協議会「第5回幹事会」
23日 火			
24日 水			
25日 木			
26日 金			
27日 土	連合埼玉事務局所年末年始休暇(~1/4まで) ※各地域事務所も同様		
28日 日			
29日 月			
30日 火			
31日 水			

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

連合埼玉は第19回地方委員会を11月20日に開催し、2015年度活動計画を確認した。2015年度活動計画は、昨年11月に開催した第13回定期大会で確認された2014～2015年度運動方針を補強するものである。

運動方針で掲げた「社会的に拡がりのある労働運動をめざし、大衆行動などを組織し、社会的なうねりをつくりだす運動に取り組む。そのためには、連合が『働く者みんなのために社会の不条理に立ち向かう組織』として社会的ポジションを確立することが必要である。また、仲間を増やし、弱い立場にあるものを結び、運動への参加促進を強め、他団体などの連携をはかり、社会的影響力を強めるために、『20万連合埼玉』達成に向けた取り組みを、その根幹に位置づけ運動を進める」ことに変わりはない。

本号では、2015年度の活動においてポイントとなる課題について、自分なりの考え方を述べることとする。

◆2015春季生活闘争

2015春闘は、引き続き「底上げ・底支え」「格差是正」の実現をつうじ、「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」に向けて、継続して賃金の引き上げを求めていくことが重要である。とりわけ、デフレ脱却には個人消費の喚起が不可欠であり、そのカギは、雇用労働者の7割を占める中小企業で働く仲間、そして約2000万人の非正規労働者の「底上げ・底支え」「格差是正」が進むかどうかにかかっている。

加えて、新たな課題として、物価が上昇する一方で国民所得が追いついていないということ。「人への投資」を適正におこなわせ、生産性向上をはかることで、企業はもとより国民経済の付加価値を高めていく必要がある。また、労働力人口の減少という構造的な問題を抱える中で、「働き方」「休み方」に対する意識改革を含め、長時間労働を是正し、全員参加型のワーク・ライフ・バランス社会をめざす取り組みを進めなければならない。

◆労働者保護ルール改悪阻止

「労働者派遣法改正案」は、2つの重大な欠陥がある。派遣労働は世界中でおこなわれているが、派遣労働が認められているほとんどの国では、2つのルールがある。

1つは、雇用が不安定である派遣労働は「臨時的・一時的な働き方」と位置づけ、より安定した正社員への転換を進めるというルール。2つ目は、派遣先での均等待遇原則である。政府案は「生涯派遣で低賃金」を合法化する改悪であ

り、断じて認められない。一方、正社員といえども安心はできない。低賃金で使い勝手のよい派遣労働者が増えれば、正社員の数はおのずと減少する。派遣労働者だけの問題ではないのである。

臨時国会に再提出された改悪法案は衆議院の解散により廃案となったが、安倍政権が継続するならば、来年の通常国会に三度提出されることは明白である。気を緩めることなく労働者保護ルール改悪阻止に全力で取り組む。

◆組織拡大「20万連合埼玉」

組織拡大の目的は、低下を続ける組織率に歯止めをかけることによって、労働運動の復権をはかり、その結果として、政策・制度の実現力のさらなる向上をはかることである。

組織拡大は、労働組合の基本的機能であり、各組織においても様々な場面で取り組みがおこなわれているが、現場には現場の苦勞もあり、現状の社会情勢からしても容易なことではない。しかし、労働運動がある限り必ず向き合わなければならない課題である。

労働組合のない職場や労働組合に加入していない働く仲間の悩みやニーズを聞き、労働組合をつくる権利を周知し、雇用不安の解消や労働条件の維持改善のため、団体交渉をおこなう労働組合の存在意義を共有することが必要である。

安心して働ける環境整備に向けた、集団的労使関係の再構築を進めるためにも組織拡大の取り組みを全力で進めていく。

◆政策・制度実現のための政治への取り組み

11月21日、安倍首相は消費税の増税先送り判断の是非と経済政策「アベノミクス」の評価を国民に問うとして衆議院を解散し、12月2日公示、14日投票で第47回衆議院選挙がおこなわれる。さらに、来年4月には第18回統一地方選挙が控えている。

「働くことを軸とする安心社会」をはじめとする連合の政策実現のためには、「働く者・生活者」の立場にたった国・地域の政治勢力拡大をはかることが重要であり、衆議院選挙・統一地方選挙、さらには、すべての選挙が重要な戦いである。

国政における一強多弱の現状、民主党の支持率低迷など、極めて厳しい情勢にあるが、連合埼玉・構成組織・地域協議会が連携し、推薦候補者の必勝に取り組む。

以上、主な取り組みについて記述したが、私たちが取り組むべく運動課題は山積しており、一步一步前進をはかるためには、連合運動総体としての取り組みが必要である。改めて、関係各位の支援・協力をお願いする。

2014.11.21